授業改善推進プラン　中学１年生

	各教科の課題	課題に対する具体的な授業改善策	評価
国語	①漢字・語句・文法事項における基礎の徹底、および得た知識を活用させる力の定着を図る。	①漢字練習ノートで漢字の読み書きを練習させ、字形・筆順の確認と誤字の点検を行う。テストでは 80%以上の点が取れるまで再テストを実施する。文法事項は応用的な問題も取り入れ繰り返し学習する。	①漢字を学習する習慣が定着しつつあるので、今後も継続して指導していく。テストの達成率も 80%を超えている。今後はさらに 90%以上の達成率を目指し、既習内容の復習を定期的に実施していく。
社会	①思考・判断能力の向上を図る。 ②文章読解の向上を図る。	①統計資料や写真資料などを活用して、「自分なら」と自らを見つめる思考力を定着させる。 ②教科書の文章や問題文を通して、文章理解や設問に正対する力を育む。	①思考力定着のため、資料活用は有効であった。 ②まだケアレスミスが見られるため、今後も継続して設問に正対する力を育む。
数学	①数学的な見方や考え方の向上を図る。 ②早く正確に計算する技能を高める。	①教科書内にある応用問題やワーク内の発展問題を授業内に取り込む。 ②演習の時間を決め、時間内に速く正確に解く意識づけを行う。	①思考力を高めることができた。一方で基礎的な計算技能を問う問題に間違いが見られる場面があった。技能の反復練習を来年度の課題とする。 ②速く解く意識付けを行い、速く解くことはできた。正確さを求める指導を来年度の課題とする。
理科	①科学に関する基礎・基本となる知識を定着させる。	①理解度に応じた授業の振り返りと個別指導を行う。 ①基礎・基本テストを実施し、その復習を丁寧に行う。	①授業後の振り返りや、テストの復習をしっかり取り組んだことで、個別の課題について再確認と再指導をすることができ、定着の度合いを高めることができた。
音楽	①基礎的な演奏技能を習得させる。 ②読譜能力を向上させる。	①歌う姿勢（器楽演奏する姿勢）を示し、自らの演奏課題と解決のポイントを発表させる。 ②楽譜を用いた演奏表現についての発問を通して、楽語や記号と音楽表現の結びつきを理解する力を高める。	①特に器楽演奏について、姿勢と音色の関係を意識しながら演奏する様子が見られた。 ②記号・楽語を理解し、演奏表現を工夫する様子が見られた。

美術	①言語活動を充実させる。 ②思考・判断・表現力を向上させる。	①感想や発表など自分の考えを、筋道立てて言語化しまとめる。 ②作品を制作する際、自分の理想と完成までの過程を計画し取り組む。	①ワークシートにまとめたり、発表したりなどの活動を通して言語活動に取り組ませることが出来た。 ②制作時間を明確にし、必要な手立てを考えた制作に取り組ませることができた。
家庭	①基礎的・基本的な知識と技能の定着を図る。 ②言語活動を充実させる。	①具体例の写真などの視覚的教材を使い、知識と結び付けてイメージを持たせる。技能はポイントをおさえた反復練習を行う。 ②単元ごとに調べ学習や発表する場を作る。	①技能は段階を上げ、実習に取り組んだが、生活と知識の結びつきに課題が残った。 ②調べ学習を通して、言語活動の機会を設けた。
技術	①生活との関わりを意識した知識・技能の定着を図る。	①生活の中で見つけた課題の解決をテーマとし、生活を改善するための工夫をまとめさせ、製品の設計・製作に応用できる力を伸ばす。	①生活の中の課題の改善を設計・製作に活かし、主体的に製作に取り組むことができた。
保体	①主体的に取り組む態度を育成する。 ②体力の向上を図る。	①単元ごとに必ず「主体的で対話的な深い学び」を意識した授業を実施し、「上手くなり方」の学習を行う。 ②筋力と柔軟性の向上に重点を置く。	①スモールステップの練習メニューを選んで取り組むことができていた。 ②筋力については、アプローチできた。柔軟性については体育の時間のみでは、できることが限られると感じ、上手に課題提示していく必要がある。
英語	①基礎的・基本的な技能の習得を図る。 ②基礎的・基本的な技能を活用し、表現をする力の育成を図る。	①新出単語・新出文法を、ワーク等を活用し、繰り返し練習をする。 ②既習の単語や文法を用いて発表や報告をする機会を設定する。	①単語や文法事項を繰り返し練習することができた。 ②発表や報告をする機会を設定し、表現力を養うことができた。